

平成 年 寄附分 市町村民税 寄附金税額控除に係る申告特例申請書
道府県民税

第五十五号の五様式（附則第二条の四関係）

平成 年 月 日		整理番号											
住 所	フリガナ												
	氏 名		印										
	個人番号												
電話番号		性 別	男 女										
		生年月日	明・大 昭・平										

「個人番号」欄には、あなたの個人番号（行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律第2条第5項に規定する個人番号をいう。）を記載してください。

あなたが支出した地方団体に対する寄附金について、地方税法附則第7条第1項（第8項）の規定による寄附金税額控除に係る申告の特例（以下「申告の特例」という。）の適用を受けようとするときは、下の欄に必要な事項を記載してください。

- (注1) 上記に記載した内容に変更があった場合、申告特例対象年の翌年の1月10日までに、申告特例申請事項変更届出書を提出してください。
- (注2) 申告の特例の適用を受けるために申請を行った者が、地方税法附則第7条第6項（第13項）各号のいずれかに該当する場合には、申告特例対象年に支出した全ての寄附金（同項第4号に該当する場合にあっては、同号に係るものに限る。）について申告の特例の適用は受けられなくなります。その場合に寄附金税額控除の適用を受けるためには、当該寄附金税額控除に関する事項を記載した確定申告書又は市町村民税・道府県民税の申告書を提出してください。

1. 当団体に対する寄附に関する事項

寄附年月日	寄附金額
平成 年 月 日	円

2. 申告の特例の適用に関する事項

申告の特例の適用を受けるための申請は、①及び②に該当する場合のみすることができます。①及び②に該当する場合、それぞれ下の欄の□にチェックをしてください。

① 地方税法附則第7条第1項（第8項）に規定する申告特例対象寄附者である	□
--------------------------------------	---

(注) 地方税法附則第7条第1項（第8項）に規定する申告特例対象寄附者とは、(1)及び(2)に該当すると見込まれる者をいいます。

- (1) 地方団体に対する寄附金を支出する年の年分の所得税について所得税法第120条第1項の規定による申告書を提出する義務がない者又は同法第121条（第1項ただし書を除く。）の規定の適用を受ける者
- (2) 地方団体に対する寄附金を支出する年の翌年の4月1日の属する年度分の市町村民税・道府県民税について、当該寄附金に係る寄附金税額控除の控除を受ける目的以外に、市町村民税・道府県民税の申告書の提出（当該申告書の提出がされたものとみなされる確定申告書の提出を含む。）を要しない者

② 地方税法附則第7条第2項（第9項）に規定する要件に該当する者である	□
-------------------------------------	---

(注) 地方税法附則第7条第2項（第9項）に規定する要件に該当する者とは、この申請を含め申告特例対象年の1月1日から12月31日の間に申告の特例の適用を受けるための申請を行う地方団体の長の数が5以下であると見込まれる者をいいます。

----- (切り取らないでください。) -----

平成 年 寄附分	市町村民税 道府県民税	寄附金税額控除に係る申告特例申請書受付書
住 所		受付日付印
氏 名	様	

受付団体名	
-------	--

ワンストップ特例申請書記入例

平成 28 年寄附分 市町村民税
道府県民税

寄附金税額控除に係る申告特例申請

個人番号（マイナンバー）を必ず記入してください。（併せて本人確認書類を添付してください。（別記参照））

太枠内を記入してください。

十五号の五様式（附則第二条の四関係）

印鑑を必ず押印してください。

平成 28 年 1 月 30 日		整理番号		
住所 県 市 1-2-3	フリガナ	ミサト タロウ		
	氏名	美里 太郎		
	個人番号	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2		
	性別	男 女		
電話番号	0123-45-6789		生年月日	明・大 昭・平 59 . 10 . 1

「個人番号」欄には、あなたの個人番号（行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律第2条第5項に規定する個人番号をいう。）を記載してください。

あなたが支出した地方団体に対する寄附金について、地方税法附則第7条第1項（第8項）の規定による寄附金税額控除に係る申告の特例（以下「申告の特例」という。）の適用を受けようとするときは、下の欄に必要な事項を記載してください。

- (注1) 上記に記載した内容に変更があった場合、申告特例対象年の翌年の1月10日までに、申告特例申請事項変更届出書を提出してください。
- (注2) 申告の特例の適用を受けるために申請を行った者が、地方税法附則第7条第6項（第13項）各号のいずれかに該当する場合には、申告特例対象年に支出した全ての寄附金（同項第4号に該当する場合にあっては、同号に係るものに限る。）について申告の特例の適用は受けられなくなります。その場合に寄附金税額控除の適用を受けるためには、当該寄附金税額控除に関する事項を記載した確定申告書又は市町村民税・道府県民税の申告書を提出してください。

寄附年月日と金額を記入してください。

1. 当団体に対する寄附に関する事項

寄附年月日	寄附金額
平成 28 年 1 月 10 日	10,000 円

2. 申告の特例の適用に関する事項

申告の特例の適用を受けるための申請は、①及び②に該当する場合のみすることができ、①及び②に該当する場合、それぞれ下の欄の□にチェックをしてください。

内容を確認してチェックをつけてください。（確定申告の必要がなく、住民税申告も行わないことを確認）

① 地方税法附則第7条第1項（第8項）に規定する申告特例対象寄附者である	<input checked="" type="checkbox"/>
--------------------------------------	-------------------------------------

(注) 地方税法附則第7条第1項（第8項）に規定する申告特例対象寄附者とは、(1)及び(2)に該当すると見込まれる者をいいます。

- (1) 地方団体に対する寄附金を支出する年の年分の所得税について所得税法第120条第1項の規定による申告書を提出する義務がない者又は同法第121条（第1項ただし書を除く。）の規定の適用を受ける者
- (2) 地方団体に対する寄附金を支出する年の翌年の4月1日の属する年度分の市町村民税・道府県民税について、当該寄附金に係る寄附金税額控除の控除を受ける目的以外に、市町村民税・道府県民税の申告書の提出（当該申告書の提出がされたものとみなされる確定申告書の提出を含む。）しない者

内容を確認してチェックをつけてください。（寄附先が5か所以内(予定)であることを確認）

② 地方税法附則第7条第2項（第9項）に規定する要件に該当する者である	<input checked="" type="checkbox"/>
-------------------------------------	-------------------------------------

(注) 地方税法附則第7条第2項（第9項）に規定する要件に該当する者とは、この申請を含め申告特例対象年の1月1日から12月31日の間に申告の特例の適用を受けるための申請を行う地方団体の長の数に5以下であると見込まれる者をいいます。

----- (切り取らないでください。) -----

平成 28 年寄附分 市町村民税 寄附金税額控除に係る申告特例申請書受付書
道府県民税

住所	県 市 1-2-3	受付日付印
氏名	美里 太郎 様	

この部分は、申請受付後に返しますので、切り取らないでください。

受付団体名	
-------	--

ふるさと納税ワンストップ特例について

ふるさと納税ワンストップ特例制度の申請を希望される方は、別添の「寄附金税額控除に係る申告特例申請書(第五十五号の五様式)」の各欄に記入し、押印いただいた上で、本人確認書類を同封して、美里町に郵送いただきますようお願いいたします(郵送にかかる諸費用はご負担願います。)。
申請受理後に、受付書をお送りいたします。

＜提出いただく書類＞
 ・「寄附金税額控除に係る申告特例申請書」
 ・「本人確認書類」(下記参照)

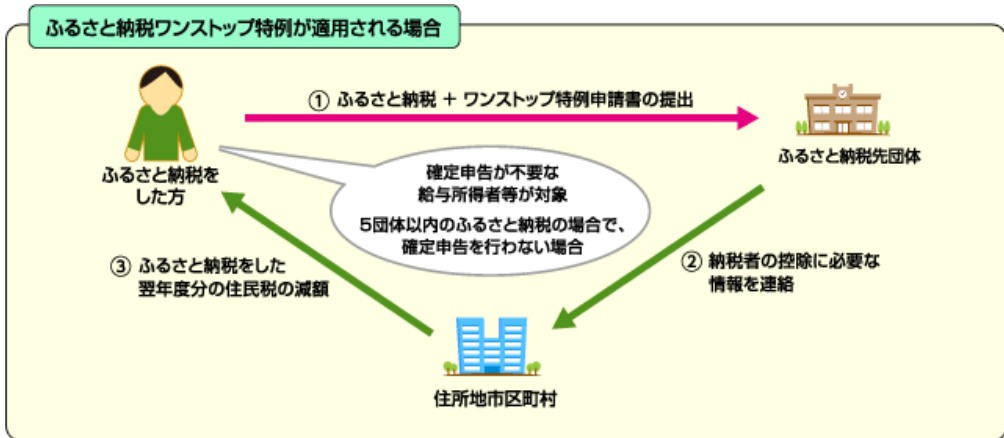
＜申請書送付先＞ 〒367-0194 埼玉県児玉郡美里町大字木部323番地1
美里町役場 総合政策課 財政担当

※平成28年1月以降の寄附に伴うワンストップ特例制度の申請書には、個人番号(マイナンバー)の記入が必要となります。また、申請の際に本人確認(番号確認と身元確認)を行いますので、下の表の本人確認書類(番号確認と身元確認両方)の写しを同封していただきますようお願いいたします。

＜本人確認書類＞	
番号確認	身元(実存)確認
次のうちいずれか1点 ・個人番号カード(裏面)の写し ・通知カードの写し ・個人番号が記載された住民票の写し	顔写真入り身分証明書の写しのうちいずれか1点 ・個人番号カード(表面)の写し ・運転免許証の写し ・旅券(パスポート)の写し など ※上記の提出が困難な場合は、健康保険被保険者証、年金手帳などの2点以上の書類の写し(詳しくはお問い合わせください。)
+	

※ふるさと納税ワンストップ特例とは・・・

確定申告をする必要のない給与所得者等がふるさと納税を行う場合に、ふるさと納税先団体から団体以内の場合であって、確定申告を行わない場合に限り、ふるさと納税を行う際に、各ふるさと納税先団体に特例の適用に関する申請書を提出することで、確定申告を行わなくても、ふるさと納税についての寄附金控除を受けられる特例的な仕組みです。



※(転居による住所変更など)提出済の申請書の内容に変更があった場合、ふるさと納税をした翌年の1月10日までに、ふるさと納税先団体へ変更届出書を提出する必要があります。
 ※5団体を超える自治体にふるさと納税をした方や、ふるさと納税の有無にかかわらず確定申告を行う方も、ふるさと納税に係る控除を受けるためには、これまで同様に確定申告書への記載が必要となります。
 ※ふるさと納税ワンストップ特例の適用を受ける方は、所得税からの還付は発生せず、個人住民税からの控除で税の軽減が行われます(ふるさと納税を行った翌年の6月以降に支払う個人住民税が軽減されます。)